

「第3次川崎市教育振興基本計画 かわさき教育プラン第1期実施計画」を新たに策定しました

「かわさき教育プラン」は、本市教育委員会の取組内容を記載した行政の計画であるとともに、本市の教育がめざす方向性を当事者間で共有し、連携・協力のもと、取組を推進するための指針として策定しています。

本市教育委員会では、これまでの「かわさき教育プラン」が果たしてきた役割を継承しつつ、子どもの実態や社会情勢の激しい変化等を踏まえ、本市の教育施策を総合的かつ体系的に推進し、「めざすもの」の実現に向けて、新たに「第3次川崎市教育振興基本計画 かわさき教育プラン第1期実施計画（素案）」をとりまとめ、パブリックコメント手続きを行い、2月6日（金）に実施結果（40通 88件）を公表いたしました。

このたび、3月13日（金）に開催した教育委員会会議において本実施計画を策定しましたので、お知らせします。

1 本実施計画の基本的な考え方

今後の本市の教育においては、**市民一人ひとりが“学びの主演”、“学びの主体”となって、自らの学びを“自分事”として捉え直すことが大切**になると考えます。

そのため、川崎の教育がめざす方向性を今まで以上に分かりやすく示し、すべての市民と共有しながら取組を進めていきます。

2 策定のポイント

ポイント1

これまでの「かわさき教育プラン」の「基本理念・基本目標」の方向性は継承しつつ、新たな価値観等を盛り込みながら、市民の皆様と本市の教育を共に進めることができるよう、本市の教育がめざす内容を、新たに「**めざすもの**」と「**みんなと共有したい価値観**」として決めました。

「めざすもの」

一人ひとりが輝き、共に未来をつくる

川崎の教育は、今この瞬間から一人ひとりの個性を大切に、生きがいのある人生を自分らしく送ることで輝くことができる人を育てます。そして、そのような市民が、それぞれの強みを活かしながら、さまざまな立場や考えの人たちと協働して持続可能な社会をつくりだしていくことをめざしていきます。



「みんなと共有したい価値観」

「一歩、踏み出す」

大切にしたいのは、子どもも大人も学びの主演として、自分らしく一歩踏み出すことです。つまり学びに変えながら、チャレンジすることを大切にします。

「自分の幸せ みんなの豊かさ」

子どもや教職員、保護者、すべての市民が、自分が自分であることを大切にできるよう、そして、共に学び合い、つながるよさを感じながら、よりよい社会をつくっていきます。

「多様性を可能性へ」

学校も地域も一緒に、他者を想像し、互いを認め、支え合いながら、多様な価値観が交差する場を創造していきます。

ポイント2

川崎の教育が複雑化する課題や多様化するニーズに対応していくため、特に力を入れて取り組むテーマを新たに「4つのKey Project」としてまとめ、各テーマに係る取組を重点的に進めます。

Project 1

社会参画に向けた資質・能力を育成する 探究的な学びの充実

- ・すべての市立学校における「かわさき探究 2.0」の実践
- ・「かわさき探究 2.0」の実践を支える取組

Project 3

教職員が働きやすい環境づくり

- ・教育課程の編成による創造的な余白づくり
- ・教員の負担軽減・業務改善
- ・児童生徒主体の学びへの転換
- ・しくみづくり・環境整備・人材確保

Project 2

組織等の枠を越えた連携による 切れ目のない支援

- ・個別の教育支援計画を軸とした連携体制等の整備
- ・多様な学びの場の確保と安全・安心な居場所づくり
- ・保護者の安心につながる支援等の充実
- ・学校・教職員の取組を支える環境の整備

Project 4

生涯を通じた 「学び」と「学び合い」社会の実現

- ・生涯を通じた「学び」の環境の充実
- ・「学び合い」社会の実現に向けたしくみづくり

※それぞれのプロジェクトの詳細については、ホームページの本編資料を御覧ください。

3 公表

「第3次川崎市教育振興基本計画かわさき教育プラン 第1期実施計画」の本編及び概要版は、川崎市のホームページで公表します。

(<https://www.city.kawasaki.jp/880/page/0000171618.html>)



▲市ホームページ

4 添付資料

資料「第3次川崎市教育振興基本計画かわさき教育プラン 第1期実施計画」【概要版】

【問合せ先】

川崎市教育委員会事務局教育政策室 豎月
電話 044—200—3307